

事務事業名		33000 消防施設整備事業	予算科目	会計 一般	款 9	項 1	目 1	所管課 消防本部	担当班	警防課
実施体系	基本施策	30 消防力の強化	根拠法令	消防法第20条 水道法第24条第1項				事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業	<input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画
	施策の展開	58 常備消防体制の充実	戦略事業	257 消防水利の整備					<input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画	<input type="checkbox"/> 定住自立圏構想
	施策の展開		戦略事業						<input type="checkbox"/> 主要事業	

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	・老朽化した金網張り防火水槽の金網を、要望等が無ければ新しいものに張り替える。また、既存の屋根付防火水槽の屋根の破損や、防火水槽が漏水し消防水利として水量を確保できないものを修理し、危険のない使用可能な状態にする事業。 ・防火水槽用地を借りて設置されている防火水槽が、地権者から用地返却を求められた際、撤去要望書を提出してもらい土砂等で埋戻し現状回復を行う事業。 ・住民からの設置要望や旭市消防力整備指針の計画にあわせ毎年度耐震性貯水槽の設置を整備計画する。 ・旭市総合計画の策定もあり、市民の生命、身体及び財産の保護のため、火災等の災害に備え計画的に消火栓を設置する。また市内に設置されている消火栓が常に良好な状態で使用できるように、腐食したボルト等の交換を行い、安全な消防活動ができるように維持管理する。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
・住民の転落事故等防止のため始まった。 ・地権者から土地の返却を求められたことから始まった。 ・上水道整備事業開始に伴い、計画的に消火栓を設置し迅速な消火活動ができるよう各計画に組み込んで実施している。また、安全、確実な消火活動を確保するため、ボルト等が腐食した消火栓を修理する必要があったため。	・年数が経過した防火水槽の破損により、金網の張替えや屋根の改修件数が多くなっている。 ・突発的な撤去要望が多く、予算化されていない年度内の実施が難しいため、地権者の理解を得るために苦慮することが多い。 ・年数が経過した古い防火水槽は耐震性が無く漏水が多いため、防火水槽の入れ替えも検討したいが、厳しい財政状況下で、漏水箇所が目地埋めやシート張り等の一時しのぎな工事しかできない。	・近年住民の防災意識が高まっているなかで、老朽化した防火水槽の改修要望が多くなっている。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (27年度の決算) 単位:千円		事業費							
1.工事請負費(設置・改修)	6,930	有蓋化改修等15か所	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)	
2.工事請負費(解体・撤去)	678	解体・撤去2か所	1. 工事請負費(設置・改修)	千円	3,584	16,720	8,078	6,930	21,136
3.公有財産購入費	0	土地購入費	2. 工事請負費(解体・撤去)	千円	3,321	2,556	4,311	678	1,264
4.負担金補助及び交付金	8,235	消火栓新設3基、消火栓修繕7基	3. 公有財産購入費	千円	0	0	0	0	1,365
	0		4. 負担金補助及び交付金	千円	11,639	9,066	6,370	8,235	11,578
② 特定財源の内訳 (27年度の決算) 単位:千円		事業費計 (A)		千円	18,544	28,342	18,759	15,843	35,343
1.国庫支出金	0	1. 国庫支出金	千円						
2.都道府県支出金	0	2. 都道府県支出金	千円						
3.地方債	0	3. 地方債	千円						14,200
4.その他	0	4. その他	千円						
		5. 一般財源	千円	18,544	28,342	18,759	15,843	21,143	

前年度増減理由 27年度は26年度と比べ防火水槽解体・撤去件数が少なかった為、事業費が減となっている。

従事職員数 常時 2人 最大 3人 × 70日 = 延べ 210人

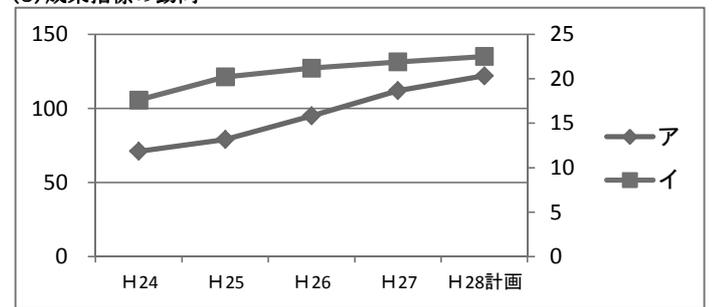
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	27年度実績 (27年度に行った主な活動)		ア 防火水槽有蓋化・修理か所数 (井戸式消火栓含む)	か所	5	5	11	15	9
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	⇒	イ 消火栓新規設置(上段)・修繕数(下段)	基	4	3	1	3	4
	対象意図 老朽化防火水槽 消火活動に必要な消防水利を確保する。また、人災による転落事故防止を図る。 対象意図 消火栓 安全な消火栓を維持管理し、確実な消防活動の実施を図る。		ア 有蓋化・改修工事・撤去工事の実施か所数(割合) (19年度～の工事件数)	か所	71	79	95	112	122
			イ 耐震性貯水槽の設置率	%	17.6	20.2	21.2	21.9	22.5

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果					
施策貢献度	大きい	成果向上余地 かなりある	①	評価結果	コスト比率		
	普通	ある程度ある	②		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	小さい	ほとんどない	③		(3)		
			④⑤				
			⑥				
			⑦⑧				
			⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難	
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標イ 成果指標のタイプ	数値増=成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下
③ 今年度取組事項 (今年度新たに取り組む事項について記載)	時期 内容 今後の方向性	比較 23年度 24年度 25年度 26年度 27年度 24年度 25年度 26年度 27年度 28計画 ア 12 8 16 17 10 イ 0.7 2.6 1.0 0.7 0.6 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他 () 今度も地域格差は正のため、有効な消防水利が不足している地域を重点的に整備し充足率の向上を図る。